

1. 科目名 (単位数)	生活/生活 (幼) (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3283 SJMP3383						
2. 授業担当教員	坂本 史生								
4. 授業形態	講義、実習、グループ学習	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	<p>教科「生活」の新設から今改訂までの学習指導要領の変遷について学ぶとともに、新学習指導要領の目標や内容、基本的方針など理解を深め、幼児期から児童期へのスムーズな移行を意図していることに気付き、「遊び」「基本的生活習慣」を基にその連関について考察する。そして、生活科学学習内容項目について理解したうえで具体的な教育課程や指導案展開の活動事例を構想する。さらに、グループワークやディスカッションの学習や実践的体験活動を通して子どもの気づきを大切にされた教師側の声の掛け方や支援・地域環境や幼児・児童等の発達段階に応じた生活科教育のあり方を考え、それらの学習を基にして、教科「生活」を横断的・系統的視点から他教科等との関連・総合学習との関連・幼児教育との関連について学んでいく。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育課程における生活科の位置、子ども観、生活科の目標、学習内容について理解し、説明することができる。</li> <li>2. 具体的な体験学習を通じた生活科学のあり方について理解し、説明できる。</li> <li>3. 生活科の指導計画や活動展開について構想し、表現することができる。</li> <li>4. 生活科と幼児教育の連続や関連性について具体的に考えることができる。</li> <li>5. 総合的な教科としての特性を理解し、説明できる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>予習課題や探求的な課題を積極的に取り組み、主体的、対話型の学習によって理解を確かにすると共に問題解決力を培うように努めること。</p> <p>レポート課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科目標に「具体的な活動や体験を通すこと」と示されていることの趣旨について具体的に考察する。</li> <li>2. 生活科の学習指導の特質について考察する。</li> <li>3. 生活科と幼児教育との関連を考える。</li> </ol>								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 『小学校学習指導要領解説 生活編』東洋館出版。</p>								
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活科の目標や内容、特徴を理解できているか。</li> <li>2. 生活科の目標や内容、特徴を理解した上で、自分なりの意見や考えを表現できているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極性 (発言等)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2 日常の学習状況 (出席・提出物)</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート (中間・期末)</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> </table>			1 授業への積極性 (発言等)	総合点の 20%	2 日常の学習状況 (出席・提出物)	総合点の 30%	3 課題レポート (中間・期末)	総合点の 50%
1 授業への積極性 (発言等)	総合点の 20%								
2 日常の学習状況 (出席・提出物)	総合点の 30%								
3 課題レポート (中間・期末)	総合点の 50%								
12. 受講生への メッセージ	<p>生活科は平成元年に発足した教科です。教育活動を総合的に捉えたと、知識や技能を身に付けると同時に、それらの力を存分に使って学び生きる意欲を高めることが欠かせません。生活科は直接体験を重視して学ぶ意欲を高めます。皆さんが、生活科に止まらず視野を教育課程全体に広めながら学ぶことを期待します。</p>								
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション シラバスから生活の学習の概要を知り、学習の計画を立てる。	事前学習	自分の身近な子どもを観察する。						
		事後学習	生活科の活動の構成原理について要点を整理する。						
第 2 回	子どもの理解と子どもを取り巻く環境 子どもの生活や生活環境について考え、子どものイメージマップを完成させる。	事前学習	自分の身近な子どもを観察する。						
		事後学習	学習のまとめをする。						
第 3 回	生活科の教育原理 (人、社会、自然から直接学ぶ等) 生活科の目標から、生活科の教育原理をとらえる。	事前学習	自分の身近な子どもを観察する。						
		事後学習	学習のまとめをする。						
第 4 回	生活科の内容構成 生活科の内容を読み、目標、学習活動、子どもがどのようにになったら学びができたといえるか話し合い教材研究の仕方を考える。	事前学習	生活科の原理について自分なりのまとめをしておく。						
		事後学習	教材研究の在り方を整理する。						
第 5 回	生活科の内容と教材研究 生活科の内容を読み、目標、学習活動、子どもがどのようにになったら学びができたといえるか話し合い教材研究の仕方を考える。	事前学習	学習指導要領を読んでおく。						
		事後学習	教材研究について整理しておく。						
第 6 回	生活科の素材集め・教材研究 (1) グループで地域を巡り、学習素材を収集する。	事前学習	街の様子に気を配りながら歩き、情報を収集する。						
		事後学習	子どもが発見しそうな素材に留意しながら街を歩く。						
第 7 回	生活科の素材集め・教材研究 (2) グループで地域を巡り、学習素材を収集する。	事前学習	街の様子に気を配りながら歩き、情報を収集する。						
		事後学習	子どもが発見しそうな素材に留意しながら街を歩く。						

第8回	生活科の素材集め・教材研究(3) グループで地域を巡り、学習素材を収集したことをまとめる。	事前学習	収集した情報をまとめておく。
		事後学習	公共施設及び、安全面に対する配慮に関する情報を、まとめる。
第9回	生活科の指導計画の作成と内容の取り扱い 生活科の内容に則して収集した素材についてグループごとに発表をする。	事前学習	発表の手順及び内容と方法を考える。
		事後学習	他のグループの発表を聞き、自身のグループのまとめと比較したりしながら、生活科の内容への理解を深める。
第10回	生活科の学習指導の進め方 生活科の授業をみて、この活動までにどのような準備が必要か考える。	事前学習	生活科の授業の展開について考える。
		事後学習	実際に自身が授業者となったときのイメージを膨らませ、具体的な展開を考える。
第11回	指導に生きる評価(生活科の評価の考え方・特質・進め方) 生活科の評価の在り方について考える。	事前学習	生活科の評価について、資料を探しておく。
		事後学習	評価の仕組みについて、学習したことを整理しておく。
第12回	生活科の指導案の書き方 自分で選んだ単元に基づいて指導のポイントを考える。	事前学習	設定する単元を決めておく。
		事後学習	他の発表を聞き、参考になった点や気づいたこと、感想などをまとめる。
第13回	学習指導案の批判的検討 作成した指導案を基に、グループで発表しあう。	事前学習	指導案を作成する。
		事後学習	他の人の指導案のよいところを整理する。
第14回	新しい教育課程での生活科の意義 教育課程における生活科の学習の意義について考える。	事前学習	生活科改訂の趣旨について、教科書を読んでおく。
		事後学習	生活科の意義について、改めて考え、整理する。
第15回	まとめと課題レポートの発表 生活科で学んだことをまとめ、レポートを発表する。	事前学習	生活科のレポート課題をまとめておく。
		事後学習	生活科と他教科や総合的な学習の時間とのつながりについて考察をまとめる。